

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 事務部施設環境課
	電 話 番 号 等	03-3560-7761
公表の 担当部署	名 称	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 事務部施設環境課
	電 話 番 号 等	03-3560-7761

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス :	http://www.toranomon.gr.jp/pdf/about/outline/chikyutokai/outline/outline.pdf
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所 :	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 事務部施設環境課
		所在地 :	東京都港区虎ノ門二丁目2番2号
		閲覧可能時間	平日稼業時間内
	冊 子	冊子名 :	
入手方法 :			
そ の 他	アドレス :		

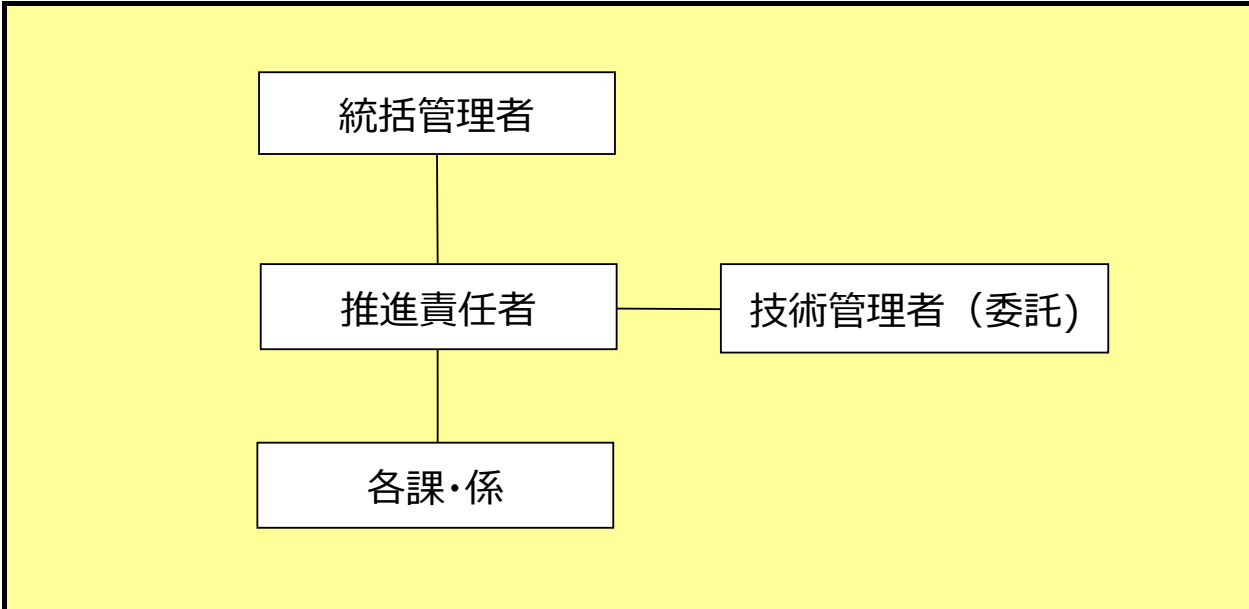
(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2020	年度	事業所の使用開始年月日	2019	年	4	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2022	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

<p>■基本方針 エネルギー消費効率の優れた設備の導入、設備の運転、保守、点検の制定、と推進体制の強化をもって地球温暖化対策に取り組む。</p> <p>■取り組み 意識の継続・・・従業員に対し、危機感をもって意識の向上を図り、尚且つ継続をもって地球温暖化対策及び環境対策に積極的に取り組むよう普及啓発する。 省エネシステムの導入・・・計画期間内に定めた削減目標をクリアする為に、施設環境課が陣頭指揮をとり、他部門とも協議を重ね対策を実施するものとする。 環境改善・・・地域社会に貢献できるよう環境負荷の小さい設備の導入に取り組む。また、地域ボランティア等にも院全体で積極的に取り組むものとする。</p> <p>再エネの導入・利用に関する取組みについて： 太陽熱パネルを採用し、給湯の補助熱に利用している。</p>
--

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	エネルギーの使用の最適化・効率化を追求すると共に、運用対策を実施することにより、総量削減義務以上の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当事業所から排出される特定温室効果ガス以外のガス（その他）ガスは、上水・再生水及び下水使用に伴う排出である。節水意識を高めその他ガスを削減する。		
削減義務の概要	基準排出量	t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	
	排出上限量（削減義務期間合計）	t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025 年度から 2029 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	耐用年数を超えた設備を省エネ型タイプに更新することで、基準排出量の17%以上の削減を目標とする。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	節水を実施し、その他ガスを現状の2%以上削減を目標とする。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO ₂)		10,458	10,464			
その他ガス	非エネルギー起源 二酸化炭素 (CO ₂)					
	メタン (CH ₄)					
	一酸化二窒素 (N ₂ O)					
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)					
	パーフルオロカーボン (PFC)					
	六ふっ化いおう (SF ₆)					
	三ふっ化窒素 (NF ₃)					
上水・下水		77	80			
合計		10,535	10,544			

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり 特定温室効果ガス 年度排出量	122.3	122.4			

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ ）
<input checked="" type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	排出活動指標の種類について、医療、商業及び駐車場の3種類として算出した。
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	
----------	--

(4) 削減義務期間

2022年度から	2024年度まで
----------	----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量(A)						
	削減義務率(B)						
	排出上限量(C = ΣA-D)						
	削減義務量(D = Σ(A × B))						
実績	特定温室効果ガス排出量(E)						
	排出削減量(F = A - E)						

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因			

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
	【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】				
1	130100	13_空調和の管理	空調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の風量調整	2022	空調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の風量調整を行い、ファン電動機の電力量削減を行う。
2	130100	13_空調和の管理	空調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の運転時間管理	2022	空調和機(AHU)、外気調和機(OHU)の運転管理(発停を時間管理)を行い、ファン電動機の電力量削減を行う。
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
17					
18					
19					
20					
	(再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況)				
71					
72					
73					
	【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】				
81					
82					
83					
	【排出量取引の計画及び実施の状況】				
91					
92					
93					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

2019年の建物移転を機に、環境配慮型の設備を導入したので、きめ細やかな運用対策を実施している。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

太陽熱パネルを導入しており、給湯の補助熱に利用しており、熱を吸収できているので効果があると認識している。